

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年12月1日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年12月1日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【滞留水貯留設備FタンクエリアN5タンクの水位上昇について】 5/6号機滞留水浄化装置にて浄化した水を、FタンクエリアN2タンクへ移送中に、同エリアにあるN5タンクの水位が上昇していることを当社社員が確認した。 N2タンクへの移送を停止させ、継続してN5タンクの水位を監視していたところ、N2タンクからN5タンクへ水が流入した可能性があるかと判断した。 N5タンクについては、散水基準を満足していることを確認しているが、N2タンクについては分析前の水であり、散水基準を満足しているか確認できていなかった。 その後、N2タンクの分析を実施したところ、散水基準を満足していることを確認。 N2タンクからN5タンクへ水が流入した原因について確認し、対策を検討する。</p>	GⅢ	11月25日
2	<p>【固体廃棄物貯蔵庫の運用状況に関する資料の誤記について】 当社社員が当社にて作成している固体廃棄物貯蔵庫の運用状況に関する社外報告書を作成するために、参考に前回報告した資料を確認した際、備考欄に「9月末」と記載するべきところ「8月末」と記載の誤記を確認。 当該報告書については、訂正済み。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	11月26日
3	<p>【既設多核種除去設備(A)系の圧力調整弁の動作不良について】 当直員が既設多核種除去設備(A)系の起動準備中に、前処理ステージ1クロスフローフィルタA出口圧力調整弁の動作不良を確認。 現場を調査したところ、当該調整弁制御用の計器不良と推定されたため計器交換を実施。 計器交換後、当該調整弁が正常に動作していることを確認。</p>	GⅢ	11月28日
4	<p>【電解水製造装置のアルカリ水タンクセンサの異常について】 協力企業社員が電解水製造装置のアルカリ水タンクセンサ異常警報を確認。 原因はセンサ部の汚れによる誤警報と推定。 今後、センサの部品交換を予定。</p>	GⅢ	11月27日
5	<p>【当社ホームページに公表している放射能の分析結果の誤記について】 当社社員が当社ホームページに公表している「1～4号設備2号機PCVガス管理システム入口(粒子状)」のデータについて、備考欄に「AL値を超えています(全β放射能)」と記載するべきところ「AL値を超えています(全α放射能)」と記載の誤記を確認。 なお、AL値および分析結果に誤りはなく、全β放射能がAL値を超えていることは確認できる。 ホームページのデータは訂正済み。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	11月29日